

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072900323		
法人名	社会医療法人城西医療財団		
事業所名	かたくりの郷		
所在地	長野県北安曇郡白馬村神城天神原22844-4		
自己評価作成日	令和 5年 10月 31日	評価結果市町村受理日	令和 6年 1月 5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiyokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhou_detail_022_kan=true&ijyooyoCd=2072900323-006&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 5年 11月 27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ご利用者にとって安心して暮らせる「家」となるよう、一人ひとりの思いやニーズを汲み取り、ホームでの暮らしに張り合いと安らぎが得られるよう支援している。
 ・毎月の通信の発行、家族会、日々の様子や体調の変化などをこまめに連絡するなどご家族との信頼関係の構築に努め、ご利用者を一緒に支えていける関係を大切にしている。コロナ禍で休止していた家族会も少しずつ再開しており、今後もご利用者、ご家族、職員の交流の機会を増やして行きたいと考えている。
 ・管理者は併設の医院の医師であり、体調変化の相談などリアルタイムでの相談が可能となっている。複合施設の利点を活かして他職種との連携を図りながら継続的に支援できるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

白馬連山を望み、緑豊かな自然に囲まれ、のんびりとした雰囲気が漂う中に当ホームがある。開設当初に職員で考えた「いつも優しく、お互いに手をつなぎ合う、かたくりの郷」他、4項目からなる理念を支援の柱に、職員は家族との関わりを大切に、きめ細かな連携を図り、利用者に豊かさや充実した生活が送れるように日々の支援に取り組んでいる。新型コロナ禍の状況が長引き、制約を受けながらの状況が続いてきたが、今年5月8日のコロナ5類への移行を受け、感染対策を取りながら徐々にコロナ前の生活に戻すようにしている。当ホームの特徴であった家族会「かたくりの会」も6月より再開され、久しぶりの顔合わせとお茶会を行い、ホームの生活の様子を見ていただきながら歓談のひと時を楽しんだという。また、9月には2回目の家族会として4年ぶりに「敬老おたっしや会」を開いて、白馬村長にも出席していただき式典を行い、それぞれの居室で家族水入らずの食事の時間を楽しんでいただいた。更に、12月には3回目の家族会として忘年会も計画されており、1年間撮りためた写真をアルバムにして特製弁当を食べながら家族と共に1年間を振り返る予定を立てている。来年はコロナの状況を見ながら内容も充実させ、以前のように年6回位の家族会を開催する予定である。昨年より利用者一人ひとりのエンディングノート「人生の歩み」の作成に取り組んでおり、思い出せる範囲で「生まれたときのはなし」「子供の頃の思い出」「結婚した頃のこと」「現在の私」「家族の思い出」「残しておきたいこと」等、10数項目を聞いてノートに纏め、家族に引き渡せるような活動に取り組んでいる。利用者、家族、職員が一体となり充実した日々を送っているホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		